

I ま え が き

平成27年度の一般会計決算額は、歳入総額が6,051億1,100万円、歳出総額が6,023億1,000万円となり、歳入・歳出とも減となりました。

歳入総額については、前年度決算額と比較すると1.0%の減となっています。

これは、市税や、消費税率引上げの平年度化による地方消費税交付金の増の一方で、等々力陸上競技場メインスタンド改築工事の終了、及び臨時財政対策債の減による市債の減などによるものです。

歳出総額については、前年度決算額と比較すると0.8%の減となっています。これは、障害者（児）への介護給付の増加による健康福祉費の増や、減債基金借入金償還元金の増加による諸支出金の増の一方で、等々力陸上競技場メインスタンド改築工事の終了による建設緑政費の減などによるものです。

また、歳入歳出差引額から、平成28年度への繰越事業に充当する繰越財源を差し引いた実質収支額、いわゆる剰余金は2億700万円となりました。

市税収入については、3年連続の増収で3,000億円を超えるなど、堅調に推移しています。

減債基金からの借入金につきましては、10億円返済しました。そのため、借り入れの総額は116億円となっています。

今後も、本市のポテンシャルを活かした施策にしっかりと取り組むことで、税財源の充実に努めるとともに、より効率的・効果的な事業手法への転換を図ることなどにより、健全かつ柔軟な財政運営に努めてまいります。

以下、平成27年度決算のあらまし、並びに、平成28年度上半期予算執行のあらましについてご説明いたします。